

アオモンギンセダカモクメ

Cucullia argentea

兵庫県：要調査

環境省：準絶滅危惧(NT) -

種の概要

開張35mm程度。前翅は銀白色で、抹茶色の網目状斑紋を有する特徴的な種。後翅は白色で後縁部はやや黒褐色を呈する。海岸の草地や河川敷、石灰岩地帯の草原などで記録されており、幼虫はカワヨモギを食べる。成虫は年1化性で、9月に出現し、ツリガネニンジンの花に好んで訪れる。

(画像無し)

国内分布

本州、四国、九州、対馬

県内分布記録

高砂市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○

特記事項

古い記録があるだけで近年の記録がない。平地の荒れ地は調査がほとんど進んでいないので調査が必要

保護上の留意点